

製品名: Nck-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14445**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	NCK2
別名	NCK2; GRB4; Cytoplasmic protein NCK2; Growth factor receptor-bound protein 4; NCK adaptor protein 2; Nck-2; SH2/SH3 adaptor protein NCK-beta
遺伝子 ID	8440.0
SwissProt ID	O43639
免疫原	抗血清はヒト NCK2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 331-380

背景

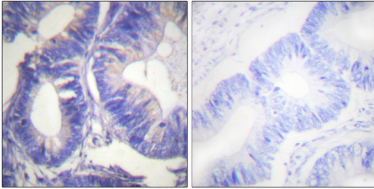
この遺伝子は、NCK ファミリーのアダプタータンパク質のメンバーをコードしています。このタンパク質は 3つの SH3 ドメインと 1

つのSH2ドメインを含みます。このタンパク質の触媒機能は知られていませんが、受容体タンパク質チロシンキナーゼの制御に関与する様々なタンパク質に結合し、リクルートすることが示されています。これらの制御活性を介して、このタンパク質は細胞骨格の再編成に関与していると考えられています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられています。[RefSeq提供、2008年7月]、機能: チロシンリン酸化成長因子受容体またはその細胞基質に結合するアダプタータンパク質。PP1による脱リン酸化を促進することで、EIF2S1のリン酸化を低レベルに維持する。、類似性: SH2ドメインを1つ含む。、類似性: SH3ドメインを1つ含む。、類似性: SH3ドメインを2つ含む。、類似性: SH3ドメインを3つ含む。、サブユニット: DOCK1、PINCH、TGFB111と相互作用する。PPP1R15B、PP1、NCK2を含む複合体の一部である。、組織特異性: 普遍的。、

研究分野

ErbB_HER;軸索ガイダンス;T_Cell_Receptor;病原性大腸菌感染;

画像データ



NCK2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。